

宮城県生協連

東日本大震災復旧・復興ニュース

NO. 5

2011年12月16日（金）発行

発行：宮城県生協連事務局
 担当 野崎 和夫
 〒981-3351
 仙台市青葉区柏木1-2-45
 TEL:022-276-5162
 FAX:022-276-5160
 e-mail:sn.m10046kn@todock.jp

県連では、会員生協や関係団体等の大震災からの復旧・復興に向けたとりくみについてお知らせしていくために、「東日本大震災復旧・復興ニュース」を発行しています。現在、会員生協の状況について、集約中です。会員生協の皆様からも、情報提供いただけますようお願いいたします。

●全国の生協からの宮城県への被災者支援募金は、累計で9億8,600万円になりました

日本生協連は、被災者支援募金の第7次送金として、10月以降募金口座に振り込まれた約6千万円を、12月15日付けで7県に送金しました。

第7次支援募金として、宮城県には2,960万円送金されました。これにより、累計では、宮城県には9億8,600万円が送金されたこととなります。

日本生協連は、被災者支援募金として、これまでに、下記のとおり22億8千万円を9県に送金しています。

【送金先と金額】

送金先	2011/5/2	2011/5/10	2011/6/10	2011/7/5	2011/8/10	2011/10/14	2011/12/15	送金合計
青森県		1,600,000		4,000,000	500,000	450,000	140,000	6,690,000
岩手県	10,000,000	60,000,000	19,000,000	126,500,000	19,400,000	17,850,000	6,410,000	259,160,000
宮城県		150,000,000	119,000,000	531,640,000	73,500,000	82,408,569	29,603,356	986,151,925
福島県	10,000,000	132,000,000	165,000,000	386,500,000	63,500,000	51,100,000	19,900,000	828,000,000
茨城県		16,000,000	8,000,000	56,200,000	34,000,000	8,500,000	3,050,000	125,750,000
栃木県		3,340,000		6,100,000	5,100,000	1,100,000	390,000	16,030,000
千葉県			3,400,000	49,500,000	3,800,000	4,000,000	1,420,000	62,120,000
長野県		220,000		680,000	90,000			990,000
新潟県		220,000		1,100,000	110,000			1,430,000
	20,000,000	363,380,000	314,400,000	1,162,220,000	200,000,000	165,408,569	60,913,356	2,286,321,925

●東北大生協 復興牛タンカレーを提供

東北大学生生活協同組合では、教職員・院生委員会企画として、復興牛タンカレーを食堂で提供しています。12月8日（土）～12月21日（水）が提供期間です。

価格の内20円が「学業継続支援基金」へ寄せられ、被災された東北大学生の経済支援のために使われます。また、牛タンは、県内工場（岩沼市）で加工しており、地域の復興にも寄与いたします。（牛タンはオーストラリア産です。）是非この機会にご賞味ください、と呼びかけています。

●大学生協連のお見舞金をおおくりした方から寄せられたメッセージの一部をご紹介します。(大学生協連 HP より)

大学生協連では、「震災によって自宅・実家が全壊した学生組合員へのお見舞金」「震災によって父母を亡くされた学生へのお見舞金」「原子力災害で被災した学生組合員へのお見舞金」をおおくりしています。

- 実家が津波によりすべて流され、その家に住んでいた母、祖父母も未だに行方不明の状況が続いておられます。仕事に出ていた父はなんとか無事でしたが、現地での避難生活が続いているため、体力的にも、精神的にもとても辛い状態です。私の就職先も被災し、採用時期が延期されているため収入がありません。弟が2人とも学生であり、これからの学費や、住む場所、生活費などを考えると今はとても金銭的に厳しい状態です。このような状況の中、お見舞いをいただけることができ、とてもありがたく思っています。本当にありがとうございます。

(お母様やご家族が行方不明で、実家が全壊した方より)

- 父の勤務先が津波の直撃を受け、父を亡くしました。父は最後まで人々を避難させようと必死だったとのこと。皆様ありがとうございます。

(お父様を亡くされた方より)

- 感謝の気持ちでいっぱいです。私が逆の立場になったときや、これからの人生で恩返しをしたいです。私の場合がこのタイミングだっただけで、誰もが通る道だと思います。後悔しないように、常に親や身内を大切に思い、孝行してほしいです。

(お母様を亡くされた方より)

- 今回はお見舞金をお送りいただき、本当にありがとうございました。私は母を亡くし、その悲しみは本当に辛いものですが、皆さんのような暖かいご支援が私の“前へ向こう”という励みになっていることは確かです。一度は学校を辞めることも頭をよぎりましたが、きっと母はそんなことは望んでいないだろうと思いとどまりました。たくさん応援して下さる方々の為にも、母の為にも残りの大学生活を全うしたいと思えます。

(お母様を亡くされた方より)

- 私の実家は、あの有名になってしまった大川小学校から1 km 程上流にありました。そこの川の堤防も決壊し、川のすぐ側の実家は津波が直撃し、1階部分は骨組だけになりました。

1階に寝ていたであろう祖父母と、近くの公民館で話し合いをしていたという母はしばらく行方不明になりました。堤防を越えてきた水がなかなか引かず、捜索が難航したためです。結局、母は3週間後、祖父母はその4日後に発見されました。同級生やご近所さんも同じような状況です。そのような状況下、親戚の方々、同じ境遇になってしまった友人、すぐ側で支えてくれる友人達、会ったこともない方々からの優しい心遣いや応援メッセージ、そして沢山の寄付金やお見舞金に、心からの感動と感謝を感じております。しっかり学生頑張ります。本当にありがとうございます！

(お母様やご家族を亡くされた方より)

● 宮城県高齢者生協 石巻市渡波仮設住宅における支援活動



心と体をリフレッシュ

った身体ケアや体操、更にミシン講習、ブリザードフラワー教室なども開催しました。それぞれのコーナーで多くの皆さんに参加していただきました。

被災者された方々の笑顔や元気な歌声に触れ、私たちにとってもありがたい一日をいただきました。今後とも継続した活動を実施してゆきたいと思えます。

(事務局長 千葉洋士)

11月27日(日)石巻の渡波仮設住宅において、岩手、山形、埼玉の各高齢協、そして東京大田区のみなさんなど、総勢80人を超える参加者で支援活動を行いました。

当日は、地域の味を生かした芋煮、鍋、力餅などを味わっていただきました。また歌や笑いで元気になっていただきたいと、キーボードやハーモニカ演奏による合唱、腹話術、マジック、健康面への支援として歯科医師による口腔ケア、看護師による健康相談、座布団や青竹を使

●みやぎ県南医療生協 山元町での被災者支援活動について

11月5日(土)に、山元町町民グランド仮設住宅で、みやぎ県南医療生協の歌声サークルによる「うたごえ喫茶」を開催し、支援用のお米の全戸配布等も行いました。12月18日(日)にも、高瀬西石山原仮設住宅で、クリスマスイベントとして「うたごえ喫茶」を開催します。

11月12日(土)には、山元町の全仮設住宅へ、近畿ブロック及び香川県の医療生協の仲間100人と、医療福祉生協カレンダーを配布しながら訪問活動、健康チェック、フリーマーケット(無料提供が終了のため)など、それぞれの仮設毎に多彩な催しが行われ、被災者の方に大変喜ばれました。

1月25日(水)には、みやぎ生協仙南ボランティアセンターが継続して支援に入っている坂元中跡地仮設住宅において、健康チェックを行う予定です。

みやぎ生協や他のNPO団体との継続的な支援を行うため、「生協だより」でボランティアを募集したり、保健部員や組合員に多くの参加を呼びかけています。また医療福祉生協連との支援活動は、引き続き援助をいただきながら継続していきます。

(専務理事 梅津敏夫)



11/12 高瀬西石山原仮設住宅 (物資提供と炊き出し)



11/12 山元町坂元中跡地仮設住宅 (健康体操)

●みやぎ生協では、ボランティアセンターを開設して活動を行っています。

みやぎ生協 ボラセンニュース

Vol.29 2011年12月7日(水)

発行：みやぎ生協ボランティアセンター

お問い合わせ：仙台市泉区八乙女 4-2-2

みやぎ生協生活文化部

TEL.022-218-5331 FAX.022-218-5945

E-mail: sn.mfukushinet@todock.jp

◆震災復興コンサート“チェンミンLIVE”

東日本大震災から8ヶ月目にあたる11月11日(金)、東北大学川内萩ホールで、「震災復興コンサート“チェンミンLIVE”」を実施しました。気仙沼・石巻・仙南からは無料送迎バス計5台をチャーターしたほか、全壊～半壊のり災証明を提示いただいた方はチケット代無料にするなど被災された方に楽しんでいただける企画とし、当日は880名が参加しました。NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国」や紀行テーマソングなどでも活躍中のチェンミンの哀愁ただよう二胡の調べをギター・チェロのトリオで楽しむことができ、参加者からは「久しぶりにゆっくり音楽を聞くことができました」と大変好評でした。



◆ふれあいお茶会&こ～ぶのつどい

11月15日(火)の「いいコープの日」に、古川南店こ～ぶ委員会が、「ふれあいお茶会&秋のこ～ぶのつどい」を開催しました。ふれあいお茶会は「布ではし袋作り」を行い、男性の方も参加されて、とても上手に縫い上げておられました。その隣では、古川南店・古川北合同で「秋のこ～ぶのつどい」を開催し、今話題の「塩こうじ」の作り方と利用法を紹介しました。被災して古川に住むようになった方、長年ご両親の看病をされている方など、たくさんの方の思いを胸に参加していただきました。



◆あすと長町ふれあい喫茶

11月15日(火)、仙台ボラセンが、あすと長町仮設住宅集会所でふれあい喫茶を開催しました。今回は、集会所の中での「紙花づくり」と、外のひろばで共同購入南支部のイベントカーが参加した「青空カフェ」の2本立てでの開催。青空カフェは暖かい陽射しの中、気持ちの良いお茶会になりました。集会所内での紙花づくりも大好評で、作り方を覚えて教え合ったり、花束にしたりと楽しまれていました。また、こちらの仮設住宅では、ちょうど外壁への断熱材追加工事が行われていて「工事のおかげで以前よりはだいぶ寒さがしのげるようになった」などの話題も出ていました。



◆仮設住宅で子育てひろば&ふれあい喫茶

11月26日(土)、仙南ボラセンが、亘理町の宮前仮設住宅集会所で、はじめての子育てひろば&ふれあい喫茶を開催し、38名が参加しました。元気あふれるお子さんが多く、こ～ぶ家庭教育センターの協力で、外で「ストラックアウト(的当て)」をしました。男の子の参加が多く女の子にはちょっと恥ずかしかったようですが、ボールを投げる様子をお互いに息をつめて見つめて楽しんでいました。また、こちらの仮設住宅では神奈川県警の方が見回りをしてくださっているそうで、お茶にお誘いしたところ、集会所の中には入ったことがなかったとのこと。座ってお茶を飲みながら、お住まいの方と神奈川県警の方がゆっくり話す時間を持ていただくことができました。



◆支援学校の皆さんもボランティアしてくださいました

毎週木曜に蛇田店で開催しているオープンカフェで、12月1日(木)は太極拳のサークルが参加し、30分程度の簡単な体操体験をしてくださいました。参加した方からは「体の不調に応じての体操を教えてもらえた」と、とても好評でした。また、石巻支援学校高等部の生徒さん3名が接客体験で参加し、飲み物とお菓子をテーブルまで運ぶなどの活動をしてくださいました。石巻支援学校高等部の皆さんは、9月から接客体験で参加して下さり、今年度は今回で最後でしたが、とても貴重な体験をさせていただいたと先生から感謝されました。



◆ボランティア活動予定◆ 参加希望など詳しくは、ボラセンへ TEL.022-218-5331(山田)

- 〈子育て&ふれあい喫茶〉12/20(火) 10:30~12:00 (亘理町)みやぎ生協亘理店
- 〈ふれあい喫茶〉12/12(月) 10:30~12:00 (宮城野区)扇町1丁目公園仮設住宅集会所
- 12/15(木) 10:00~12:30 (大崎市)みやぎ生協古川南店
- 12/15(木) 10:00~12:00 (亘理町)旧館仮設集会所
- 12/15(木) 10:00~13:00 (石巻市)みやぎ生協石巻大橋店
- 12/16(金) 10:00~12:00 (山元町)西石山原仮設集会所
- 12/19(月) 10:00~12:00 (東松島市)グリーンタウンやもと仮設住宅集会所
- 〈オープンカフェ〉12/15(木) 10:00~13:00 (石巻市)みやぎ生協蛇田店
- 〈あばいんカフェ〉12/15(木) 15:00~16:30 (石巻市)みやぎ生協石巻渡波店メンバー集会所
- 〈健康相談会&ふれあい喫茶〉12/15(木) 13:45~15:15 (多賀城市)山王仮設住宅集会所